

石狩市第4次障がい者計画策定のための
アンケート調査結果報告書
【ダイジェスト版】

目 次

1 調査の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法・実施期間	1
(3) 調査の対象・配布数	1
2 各分野についてのご意見	
(1) 安全・安心について	2
(2) 生活支援について	5
(3) 社会参加について	8
(4) 理解の促進・差別の解消について	10
(5) 相談・情報の入手について	12

令和2年10月

石狩市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

このアンケート調査は、石狩市の障がい者施策の基本的な計画である「石狩市第4期障がい者計画」を策定するにあたり、障害者手帳をお持ちの皆さまの実情やニーズを把握し、新しい計画に反映させることを目的に実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

- 配布方法 … 郵送
- 回収方法 … 郵送、Web
- 実施期間 … 令和2年8月20日～9月10日

(3) 調査の対象・配布数

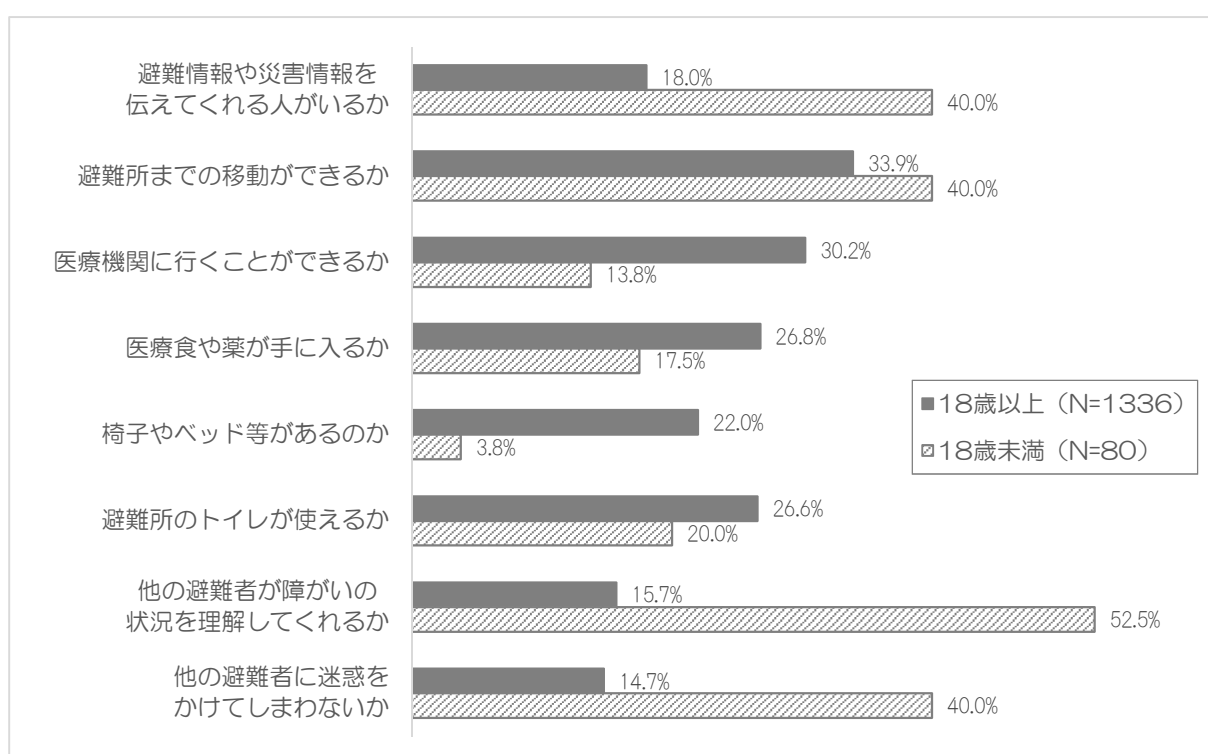
	18歳以上			18歳未満		
調査対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する者または所持する者の保護者(18歳未満)					
配布数	3,332人 ※うち重複所持者69人			228人 ※うち重複所持者20人		
	身体	療育	精神	身体	療育	精神
	2,674人	302人	425人	49人	196人	3人
回収数	1,336人			80人		
回収率	40.2%			35.0%		

2 各分野についてのご意見

(1) 安全・安心について

地震や台風などの自然災害が発生した時や避難所での生活で不安に思うことは何ですか？(複数回答)

※上位のみ掲載



- 「避難所まで移動できるか」を不安に感じている割合が、18歳以上、18歳未満ともに高く、特に身体障がいのある人が多くなっている。
- 避難所での状況を見ると、18歳未満では「他の避難者が障害の状況を理解してくれるか」、「他の避難者に迷惑を掛けてしまわないか」といった、他者への配慮に関する割合が高く、18歳以上では「医療機関に行くことができるか」、「医療食や薬が手に入るか」など、医療に関する不安の割合が高くなっている。

【その他のご意見】

- 普段とは異なった環境である避難所でのストレスケアを心配している
- プライバシーはどこまで配慮されるか
- 自分が我慢できるか
- 新型コロナウイルス等の集団感染

平成30年9月6日の「北海道胆振東部地震」の際、大規模停電(ブラックアウト)が発生しましたが、障がいがあることが理由で困った経験がありましたか？

■医療面での困りごと

- 就寝時、CPAPを使用しているが、電源を取ることができず、十分な睡眠をとることができなかった
- 酸素吸入ができず入院した
- 医療機器の充電ができなくなった(人工内耳、吸入器、たん吸引器等)
- 人工透析に関すること(透析日の変更、病院の変更、医療機関までの交通など)
- 停電で手元が見えず困った(自己導尿、ストマ交換、夜盲症など)
- 医薬品の調達ができなくなった
- 電動ベッドが動かなくなり困った

■精神面での困りごと

- 普段とは異なる環境になったことへの不安やストレスがあった
- 日常と違うことに順応しづらく、報道が恐怖を掻き立てるので目にしないよう、耳にしないようにするのが苦痛だった
- 過敏になっているため、少しの音や(なれない)ゆれに発作を起こした
- 明かりがなく精神的に不安になった
- 再度大きな地震が発生したときに精神障がいのうつ病とパニック障害の症状が起こらないか不安感がひどく日常生活を送ることが大変だった
- テレビを見ることやゲームができないことでパニックになり不安定になった
- なぜ停電が起きているのか等状況が理解できず、パニックになり大変だった
- 学校の休校や障がい福祉サービスが利用できないことで不安になった

■生活面での困りごと

- 偏食があるため食べられる物が手に入らず困った
- (保護者が)買い出しなどで家を空ける際に留守番させるのが不安だった
- 携帯電話の充電ができなかった
- 情報が入ってこなかった
- 安否確認をしてくれる人が必要と思った
- 情報が全く入ってこなかったが手話通訳の人が来てくれた
- 広報車が町内を回っていたようだが、何も聞こえず情報不足で終わったので、スピーカーの音量や速度など、工夫をお願いしたい
- 障害をあまり表沙汰にしたいくない気持ちの方が強いので自力で乗り越えた
- 断水が解消されても直後は赤水で飲用できないが、視覚障がい者は確認することができない

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、障がいがあることが理由で困った経験がありますか？

- 既往症があり感染すると命に関わるので心配
- 免疫疾患のため常に不安がある
- 感染することに対する不安が強く、4月と5月は家から出られなかった
- 精神的に不安定になる
- 外出時にはマスクが必要だが自力で脱着ができない
- 団体の活動が休止したので情報交換が足りなかった
- 通院時に感染するのではないかと心配
- 受診の予約が取りにくくなった
- 入所施設での家族との面会ができなくなった
- 感染の不安がありサービス利用を控えてしまう
- 感覚障がいでもマスクをするのが苦痛なのに、マスクをするのを強要される
- 通院等で公共交通機関を利用するのが怖い
- 透析のために通院しているがマスクがなくて困った
- 日常と違う状況、終わりが見えないこと何が危険かはっきりしないことすべてに困っている
- マスク姿の人が怖いし自分もつけたくないし消毒であふれている場も怖くて辛い
- マスクをしていると会話が聞き取れない、聞き取りにくい
- マスクを着けていると口話ができず、外出先での会話が困難でした
- 耳が聞こえないので情報が入らなく不安
- コロナに感染し、入院となると手話通訳派遣されないので困る
- 臨時休校で長期休みになったことで、学校に行けなくなってしまった
- 感染で母親が入院したり、子どもだけ入院することになったら困ってしまう
- 新しいルールや細かい変化に弱く、感染予防のマナーを守るのが難しい
- 臨時休校や放課後等デイサービスの長期休業で日中過ごす場所がなく、親は見守りのため仕事ができず、互いにストレスが大きかった
- 新型コロナウイルスについて理解できないため、苦しい時(外などで)マスクをはずして空気を吸うなどを自分でできない
- マスク着用を守るあまり、給食の時にマスクをはずせず、学校再開から夏休みまで教室で給食を食べられず、ほとんど毎日早退している
- 新型コロナウイルスにとっても敏感になり、学校が再開しても「感染したら死ぬ」としばらく登校できなくなった
- 手洗いをしても、その後すぐいろいろな物をさわって指を口に入れてしまう

(2) 生活支援について

あなたやお子さんが利用している障害福祉サービスは何ですか？(複数回答)

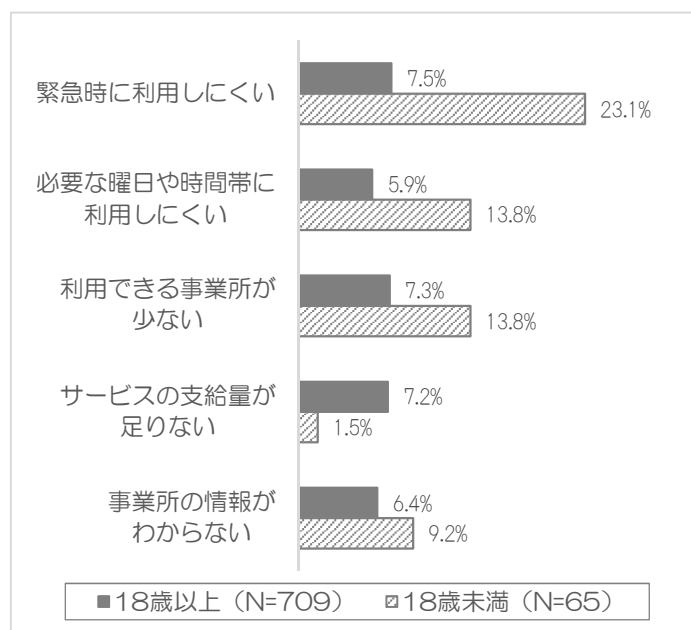
※上位のみ掲載

18歳以上		18歳未満	
利用したことがない	47.0%	放課後等デイサービス	55.0%
補装具・日常生活用具の給付	10.5%	相談支援・計画相談	23.8%
地域活動支援センター	6.7%	利用したことがない	18.8%
生活介護	6.6%	補装具の給付	15.0%
相談支援・計画相談	6.1%	日常生活用具の給付	11.3%

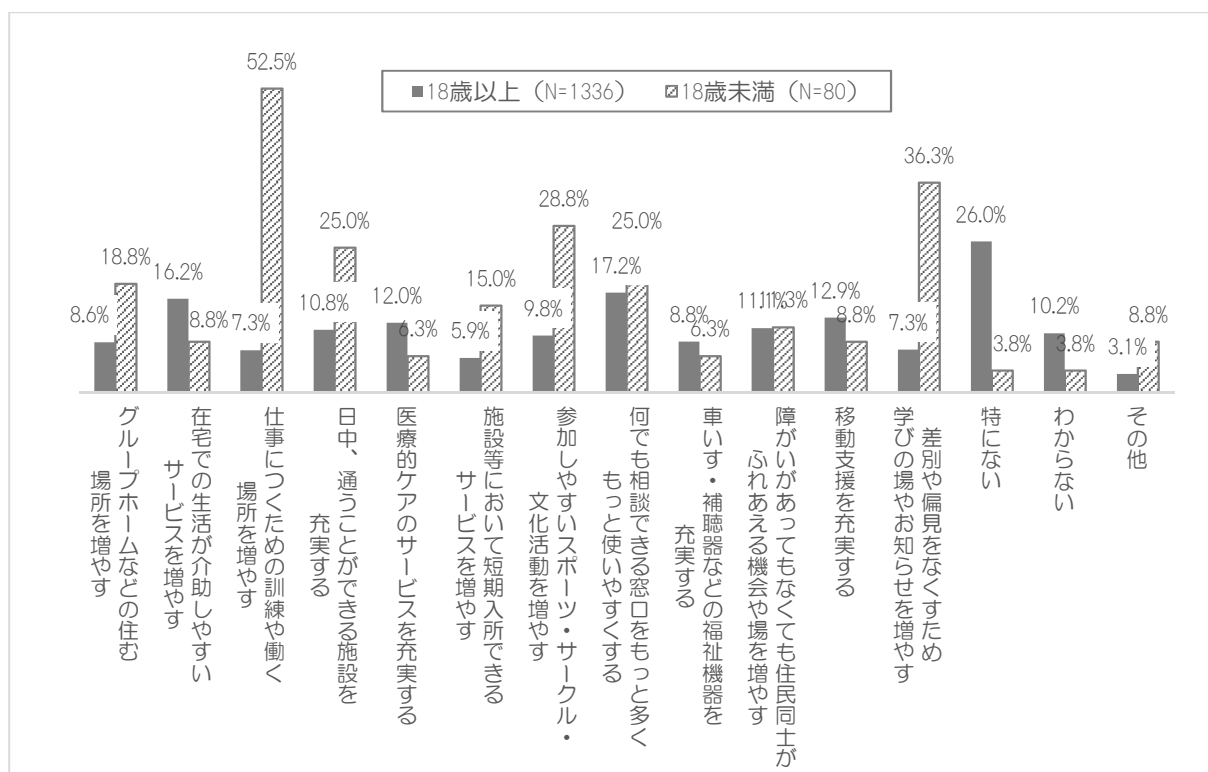
- 18歳以上では、およそ半数が障害福祉サービスを「利用したことがない」と回答しており、中でも身体障がいのある人の割合が高くなっている。
- 知的障がいのある人のおよそ9割が就労移行支援や就労継続支援、生活介護、地域活動支援センターなどの日中活動系サービスを利用していると回答した。
- 18歳未満では、「放課後等デイサービス」を利用している児童が55.0%と高い割合になっている。
- また、サービスを利用している児童のおよそ3割が「相談支援・計画相談」を利用していると回答した。

■サービスを受けるときに困っていること

- 障害福祉サービスを利用したことがある人のうち半数が「困りごとはない」と回答している。
- 困りごとのある人のうち、緊急時や必要な時に利用しにくいと回答した割合が高くなっています。
- その他の回答では、サービスの質が悪い、療育をしっかりとってくれないという意見もありました。



あなたやお子さんがよりよく暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか何ですか？(3つまで回答)

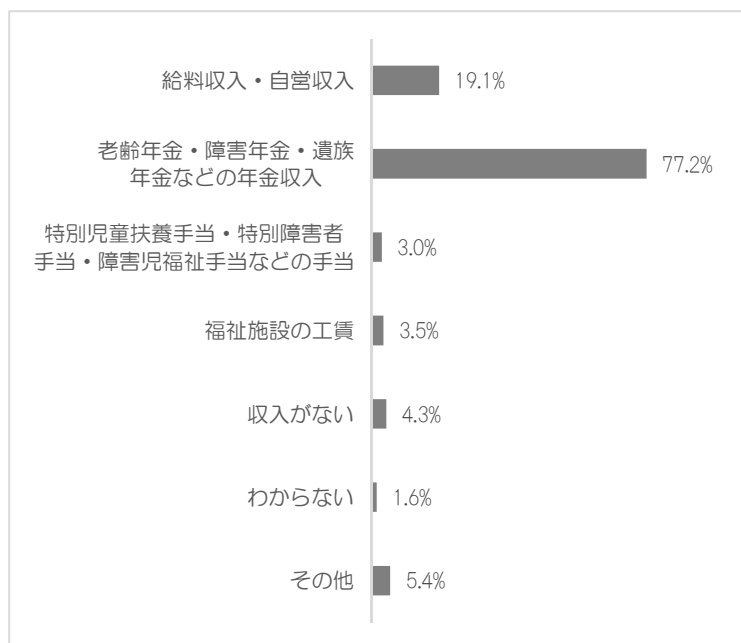


- 18歳未満では、「仕事につくための訓練や働く場所を増やす」、「差別や偏見をなくすため学びの場やお知らせを増やす」と回答した割合が高くなっている。
- 18歳以上では、「特にない」と回答した人が最も多かったが、相談窓口や在宅生活を充実してほしいと回答した割合が高い。

【その他のご意見】

- 石狩市内での生活を望んでいるが、重度障害者を受け入れるグループホームやショートステイがほぼ無い状態なので、学校卒業後の生活に不安がある
- 福祉サービスや事業所についての情報を積極的に発信してほしい
- 学校等への送迎の支援があれば、本人や家族の負担が軽くなると思う
- 企業に障害者雇用を理解してほしい
- 障害者でも働きやすい環境を整える (例)時間にとらわれず在宅勤務
- 配食サービス、洗濯支援、入浴介助、就寝介助、パソコン不具合サポート等が得られれば、1人でも生活可能
- 家族と一緒に介護を受けながら生活できる場所が欲しい
- 障害の程度にかかわらず医療支援を増やして欲しい

あなたの生活を支えている収入は何ですか？(18歳以上のみ、複数回答)

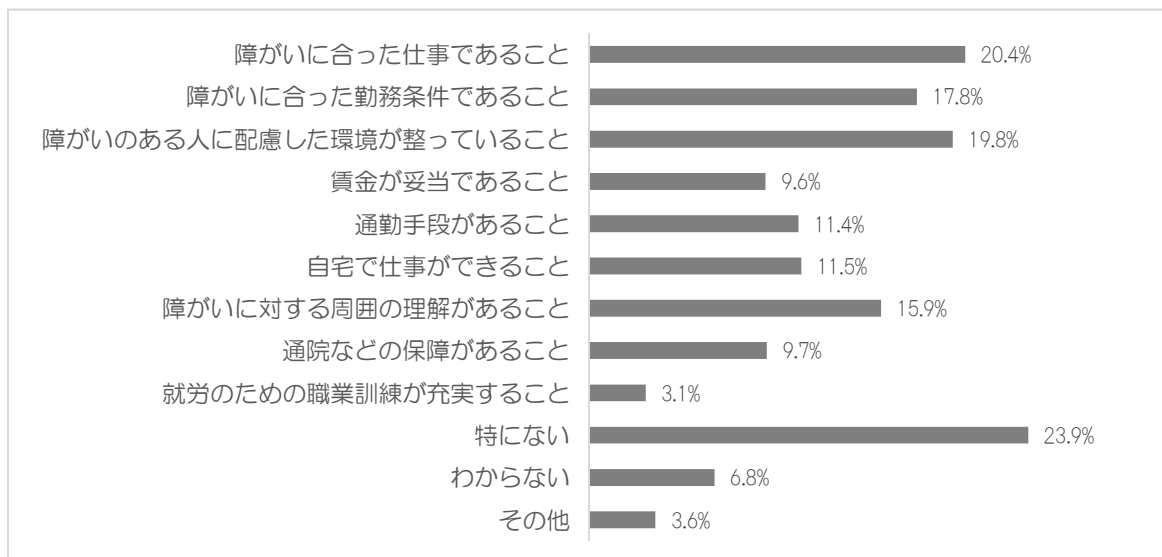


○ 年金収入の割合が圧倒的に高く、次に給料収入・自営収入となっている。

【その他の主な回答】

- 家族の収入
- 家族・親族からの援助
- 預貯金
- 傷病給付金
- 入院時の保険給付金
- 生活保護
- 失業保険
- 不動産収入

あなたが働くために必要だと思うこと、今、働いていない人は、こんなことがあれば働けると思うことは何ですか？(18歳以上のみ、3つまで選択)

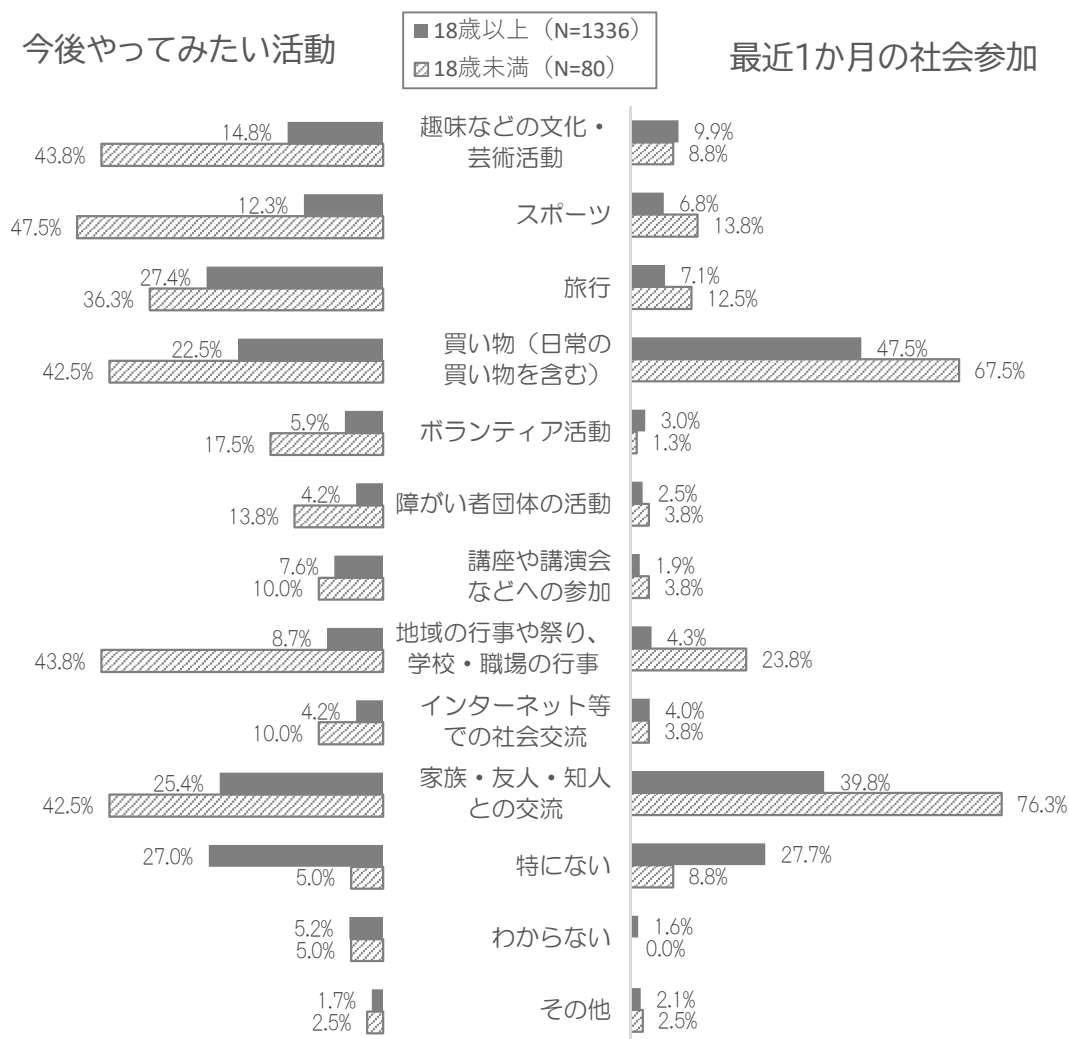


【その他の主な回答】

- 熟練したスタッフが揃っていること
- 技術があっても障がい者枠にされ不当に安い給与である
- 高齢で働けない、働く意欲がない

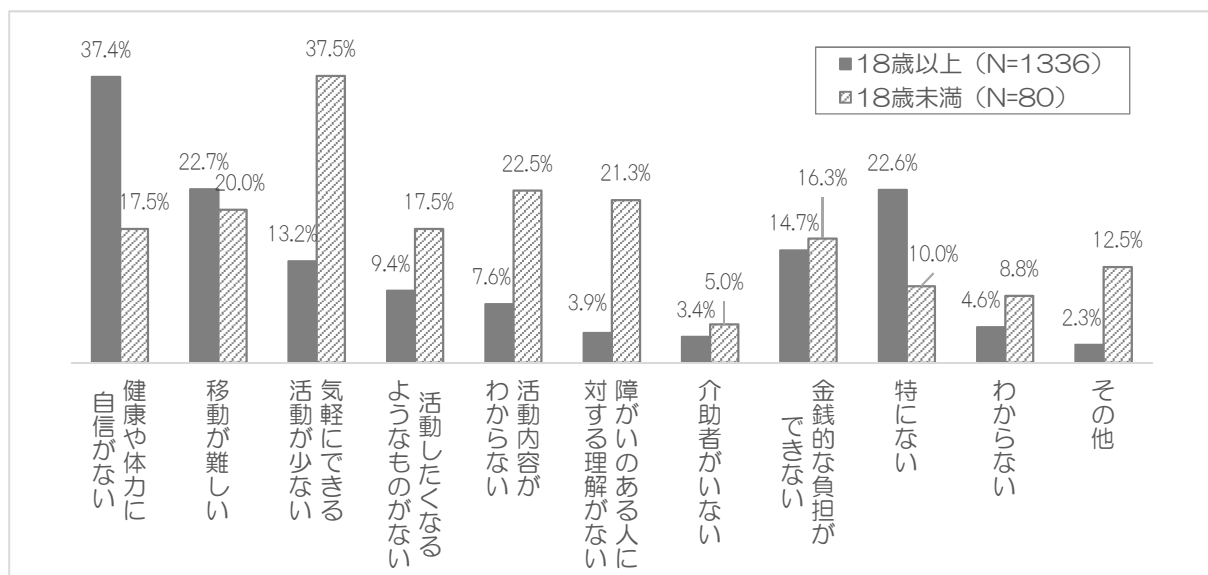
(3) 社会参加について

あなたやお子さんが最近1ヶ月間に行った社会参加は何ですか？また、今後やってみたい活動は何ですか？(複数回答)



- 最近1カ月間の社会参加では、18歳未満、18歳以上ともに「買い物」と「家族・友人・知人との交流」の割合が高くなっている。
- 今後やってみたい活動を見ると、「旅行」、「スポーツ」、「文化・芸術活動」の割合が上がり、18歳以上では特に高い傾向にある。
- その他の意見には、新型コロナウイルスの影響により、活動が中止されたり、躊躇してしまうといった意見が多く見られた。

あなたやお子さんが活動を行う上での問題点はありますか？(3つまで選択)



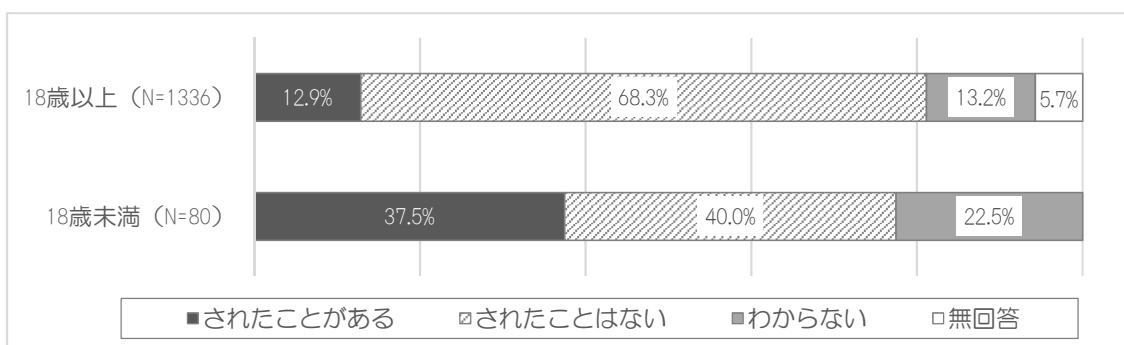
- 18歳以上では「健康や体力に自信がない」、「移動が難しい」と回答した割合が高くなっている。
- 18歳未満では「気軽にできる活動が少ない」、「活動したくなるようなものがない」、「活動内容がわからない」といった、活動そのものに対する回答と「障害のある人に対する理解がない」と回答した人の割合が高い。

【その他の主な回答】

- 本人が参加したがない
- 同じ障がいを持つ人たちとの交流の場が少ない
- 野外イベントはもっと車いすの走行がしやすい道にしてもらえると参加しやすい
- 車いすや車いす用のトイレが少ない
- インターネットでの社会交流をさせてみたいが、使い方の理解や安全性に不安がある
- 新型コロナウイルスの感染が怖い
- 外の人々の重荷になりたくない
- 社会交流はしたいが人が苦手
- コミュニケーションが取れない

(4) 理解の促進、差別の解消について

あなたやお子さんあなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたことがありますか？



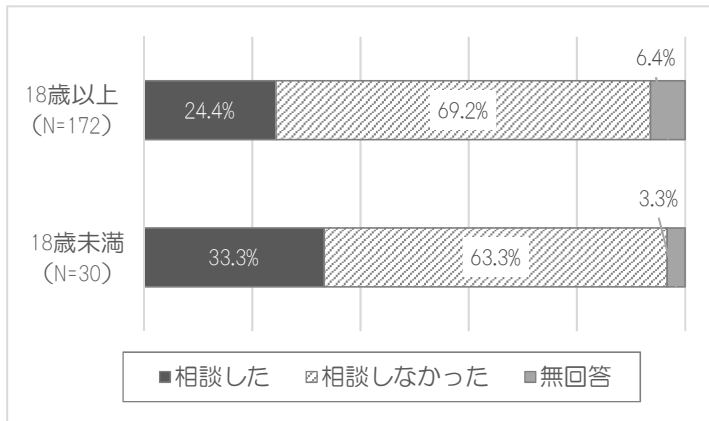
【上位の回答】

	順位	18歳以上		18歳未満	
どこで	1位	保育所・幼稚園・学校	29.1%	保育所・幼稚園・学校	70.0%
	2位	職場	29.1%	公共施設	33.3%
	3位	交通機関	18.0%	お店	23.3%
誰から	1位	友人・知人	30.2%	友人・知人	60.0%
	2位	知らない人	24.4%	知らない人	30.0%
	3位	客・利用者	19.2%	客・利用者	20.0%
何を	1位	嫌なことを言われた	62.2%	嫌なことを言われた	83.3%
	2位	嫌な態度をとられた	51.7%	嫌な態度をとられた	60.0%
	3位	嫌な目で見られた	37.2%	嫌な目で見られた	40.0%

【その他の回答】

誰から	何を
<ul style="list-style-type: none"> ● 職場の上司、同僚、部下 ● 医師、病院の職員 ● 交通機関の運転手 ● 上級生・下級生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事をさせてくれない ● 必要のない手帳の番号を聞かれた ● 精神障害者にだけ交通費助成がない ● 人工肛門でズボンの膨らみがあったのを不審がられ、見せなくてはいけなかった ● 乗車拒否 ● 下車する際に時間がかかり、降りたとたん発車された

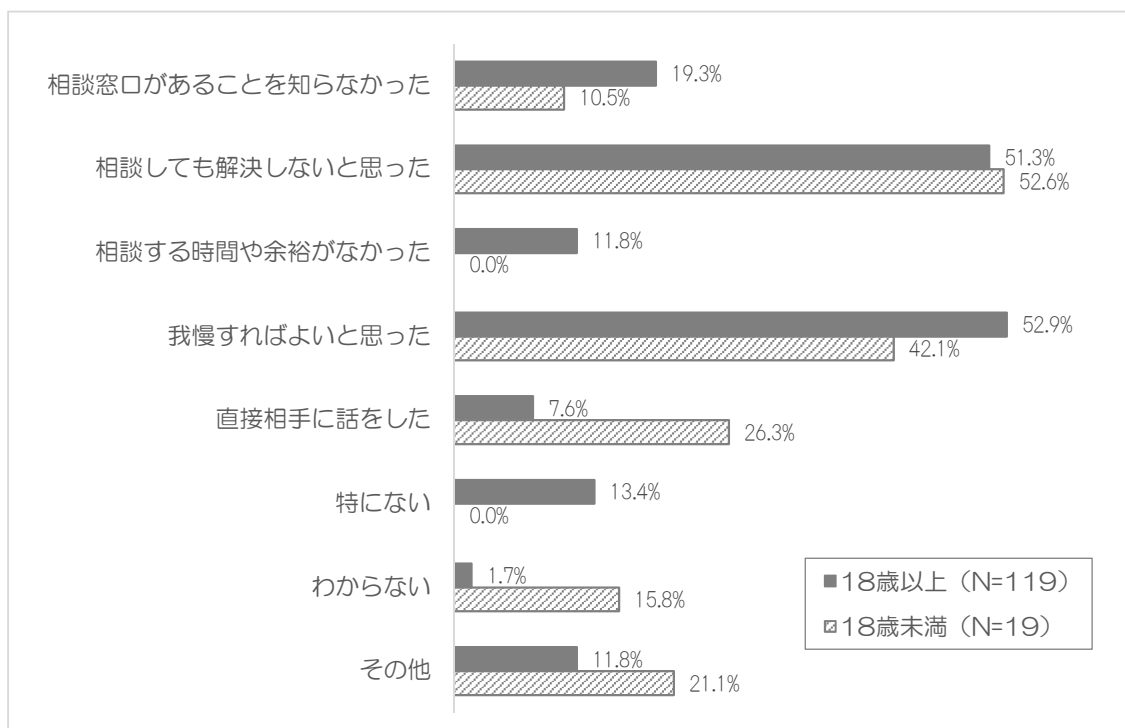
差別や偏見、嫌がらせや仲間外れなどをされた時、あなたやお子さんについてどこかに相談しましたか？



【主な相談先】

- 学校(担任、教育委員会)
- 相談支援事業所
- 両親
- 医療機関
- ハローワーク
- 労働基準監督署
- 警察

【相談しなかった理由】



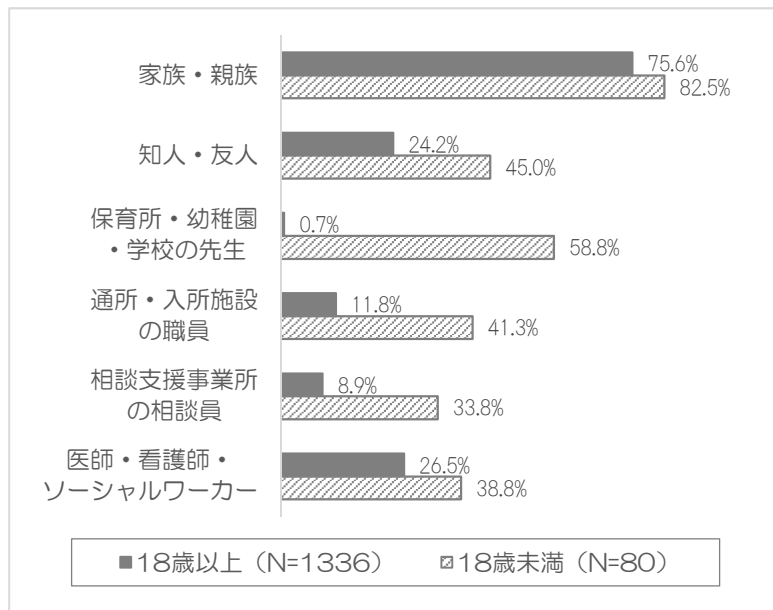
【その他の主な理由】

- 相談すればそれを弱みにとられてさらに傷をつけられる
- 会社を退職した
- 自分が悪いと思った
- 相談することで大事になり障がいがあることを知られてしまう恐れがあるから
- 知的な問題から本人自身では相談できる手段がない
- 表現の方法がわからなく相談できなかった

(5) 相談・情報の入手について

あなたが相談する人は、どなたですか？(複数回答)

※上位のみ掲載

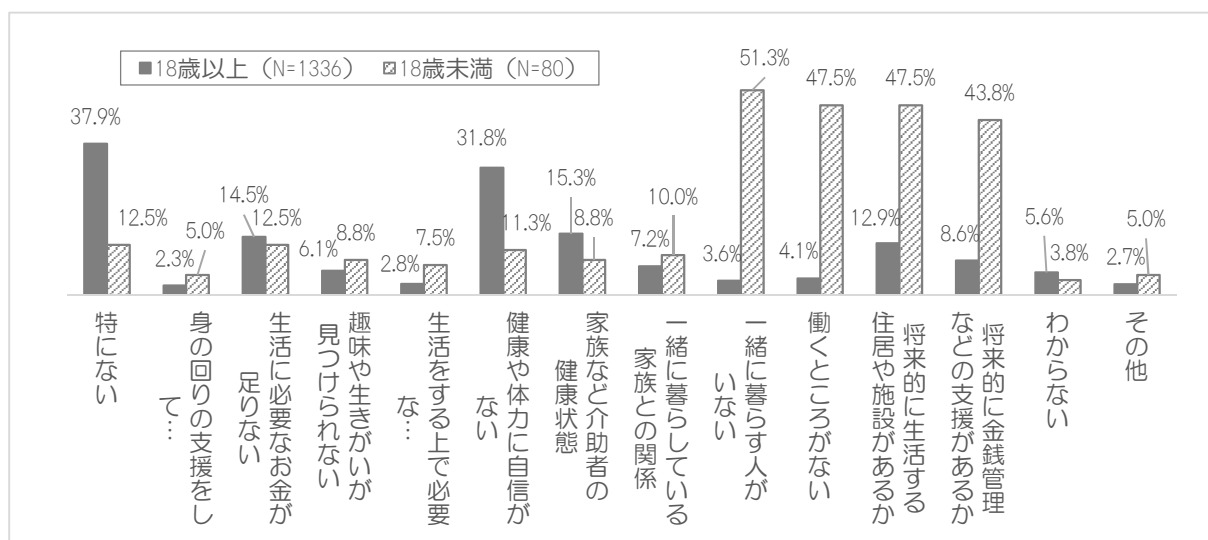


○ 18歳以上、18歳未満ともに「家族・親族」や「知人・友人」に相談する割合が高い。

【その他の回答】

- ケアマネージャー
- ぷろっぷ(市相談支援センター)の職員
- 専任手話通訳者
- 勤務先の上司
- 士業の人

あなたやお子さんが現在の生活で困っていることや不安に思っていることはありますか？(複数回答)



【その他の主な回答】

- 車を運転できなければ、どこへも行けない
- 病院に一人では行けないことが不安
- 年齢とともに運転できなくなるか不安
- 災害の避難対策
- 自分を理解してくれる存在
- 他人の目や障がいに対する理解のない言葉が辛い

あなたやお子さんが情報を入手したり、コミュニケーションをする上で配慮してほしいことはありますか？(3つまで選択可)

項目	18 歳以上	18 歳未満
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	3.7%	5.0%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	6.4%	3.8%
問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	5.6%	13.8%
手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	1.7%	3.8%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	7.0%	31.3%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	4.9%	36.3%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	16.0%	40.0%
特にない	43.6%	18.8%
わからない	11.4%	12.5%
その他	1.3%	2.5%